

脇本商事の繊維のネタ帳

知っておきたい繊維の知識～アパレル編②

Vol.192

こんにちは！

『知っておきたい繊維の知識』（ダイセン(株)より『アパレル編』）をご紹介しますのでよろしくお祈りします～！

【代表的な縫製欠点とその防止策～シームパッカリング】

シームパッカリングは縫い縮みや縫いずれにより縫い目線の付近に細かなシワを生じる現象であり、ビリとも呼ばれます。シームパッカリングの原因は多岐にわたっており、ミシンの送り機構、ミシンの特性、縫合生地（縫合生地）の性質などが影響します。ミシンの送り機構は縫いずれと関係が大きく、通常の下送りミシンでは下送りのみで生地が送られるため下布のほうが送り量が大きくなり縫いずれが発生しやすいので、針送り、上下送り、総合送りなどの送り機構ミシンが対策として用いられます。

弾性回復しやすいミシン糸は、ステッチの引き締め後のひずみ回復がシームパッカリングを引き起こしやすく、ミシン糸の張力はできるだけ低く設定します。

糸密度が極めて大きい繊維物での防止策は、ミシン糸は細番手を使用しステッチは粗くすること、押え金の圧力を下げる、送り歯高さを下げ歯数を細かくする、針穴六計を小さくするなどあげられます。



facebook情報宅急便！

www.facebook.com/kkwakimoto

こんにちは！ボビンです～♪画像にあるのは「再生レザー」です。生産過程で発生する裁断の端切れを回収し、細かく粉碎し固めてシート状にして表面をウレタンコーティングした皮革です。エコレザーといっても実はかなり種類がいろいろあります。

廃棄物を再利用したりサイクルレザーや農業廃棄物を利用した植物由来のレザー、バイナブルの葉を利用した農業副産物のレザーなどがあります。バッグや靴、財布や小物などに利用され商品化になるイメージですが、完全に自然由来ではなく耐久性や防水性を出すために、PUなどの樹脂を組み合わせる製品もあります。

エコレザー市場のある市場調査では、植物由来レザー市場は2025年には約8,800万ドル、2032年には約1億6,090万ドルと成長が予想



されていますね～

実感ではまだ普及というより本格普及する前の段階で、素材を選別している時期のように感じます～

昨今ではサステナブル素材への感心が進み、このような素材に確実に着目されてきています。性能、環境、そして価格で選ばれる市場に変化しているように思います～

この素材分野もますます技術が発展していくのですね～

NET PICKUP!

博報堂生活総合研究所による生活者の意識調査
定点調査で回答の変化を観測しています

生活定点より <https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2026-09/>

2026年9月の消費意欲指数は？

最新(2026年8月上旬)調査結果

20～69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化 **45.7%**

前月(8月)より3.4↓ 前年(2025年)より0.9↓

夏休み明けの節約意識に物価高への懸念が重なり、消費意欲指数は低水準に消費意欲は、前月比・前年比ともに横ばい。化粧品のみ前年比・前月比増

ラベルくん www.label-kun.com

～株式会社脇本商事のホームページからのお知らせ～

ラベルくん.comを運営しています脇本商事では生地をはじめ、副資材から梱包材など繊維製品の専門材料をピックアップしてご紹介しています。ぜひご覧ください～♪

<https://kk-wakimoto.com>



脇本康裕の気になるコラム

「シルクを人工的にレーヨンの誕生」

生地の素材として使われる「レーヨン」

その独特の光沢感と柔らかな風合いを持ち、ブラウスやスカート、シャツなど、綺麗なドレスを飾ったアイテムに使われ、さらさらとした着心地を感じやすい素材です。レーヨンは木材パルプなどに含まれる「セルロース」を原料で作られる再生繊維で、植物由来のセルロースを一度溶解し、繊維として再生することから「再生繊維」と呼ばれ、「人造絹糸」と呼ばれたこともあり、シルクに似た美しい光沢をしながら滑らかな肌触りが大きな特徴です。

レーヨンの歴史をたどると、19世紀のヨーロッパに行き着きます。「シルクを人工的につくりたい」という夢から生まれ、当時、シルクは高級素材として非常に人気がありましたが蚕を育てて生産するため大量生産が難しく価格も高価でした。

そこで、1880年代、フランスの化学者が植物由来のセルロースから人工的に繊維をつくる方法を開発し、1889年にパリ万博でこの「人工シルク」を発表したといわれています。初期のレーヨンは非常に燃えやすいという大きな問題があったのですが、実用化に向けてさまざまな改良が行われ、繊維製造技術が発展し現在のレーヨンにつながりました。

最近ではレーヨン単体だけでなく、ポリエステルやナイロン、綿などと混紡することで素材の長所を組み合わせた生地も多く見られます。

高級素材を人工的に再現するという発想は、その後の化学繊維の発展にも大きな影響を与え、「人がつくった繊維」の先駆けともいえる存在ですね。

さて、この素材の名前ですが「Rayon(レーヨン)」という名前はフランス語の「rayon」光線「光」に由来するといわれています。

シルクのような美しい光沢を表現した素敵な名前ですね。

Gadget Star

ガジェットの星

便利な商品をインターネットから
探してご紹介するコーナーです♪

ガジェット通信より <https://getnews.jp/archives/3736902>

いびき対策にも!睡眠環境を整えるイヤホン

睡眠の質を高めたいなら、寝室の環境を見直すのもひとつの方法。照明や枕を変えるように、イヤホンを使って「眠る環境」を整えるという選択肢もあります。そんな「眠る環境」のために作られたのが、Anker(アンカー)の「Soundcore Sleep(サウンドコアスリープ) A30」です。

いびきをリアルタイムに検知してマスキングするほか、睡眠特化型イヤホンとして世界で初めて適応型ノイズキャンセリングを搭載。横向きで寝ることも考えたコンパクトな設計になっています。

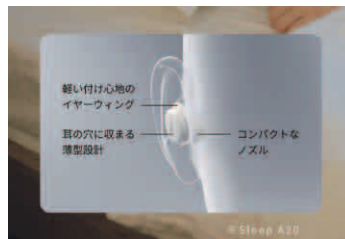


●いびきを検知してマスキング。睡眠環境をサポート

Soundcore Sleep A30 は、いびきをリアルタイムに検知してマスキング音を自動再生する「いびきマスキング機能」を搭載。ホワイトノイズやスリープミュージックなども利用でき、睡眠環境を整えるのに役立ちます。さらに、睡眠特化型イヤホンとして世界初となる「適応型ノイズキャンセリング」も搭載。耳の形状や装着状態に合わせて効果を自動調整し、睡眠中に気になる騒音を抑えます。

●片耳約 3g。横向きで寝ても使いやすい

睡眠中の装着を想定した軽量・コンパクト設計で、イヤホン本体は片耳約 3g。前モデルより薄型化され、横向きで寝たときの圧迫感や枕との干渉を軽減しています。シリコン製とフォームタイプのイヤチップを複数サイズ用意し、自分の耳に合わせてフィット感を調整できます。イヤホンから直接アラームを鳴らせるほか、Bluetooth 5.3、IPX4 にも対応しています。



※文章:ガジェット通信より抜粋

